

久留米市都市計画マスタープラン 第1回 市民懇談会 かわら版 ～ 東部地域 ～

都市計画マスタープランの策定に向けた東部地域市民懇談会を、4月10日（火）に開催しました。

第1回は、“地域の特性と課題について考えよう”をテーマに3つの班に分かれ活発な意見交換が行われました。

会次第

1 開会

2 事務局説明

- ・都市計画について
- ・都市計画マスタープランについて

3 グループ討議

「**地域の特性と課題について考えよう!**」

4 討議内容の発表

5 閉会



1 市民懇談会の開催目的

① 都市計画マスタープランについて知っていただく

- ・都市計画マスタープラン策定の目的と概要

② 市民の皆様の意見をお聞きする

地域の良い点や改善すべき点、また、将来どのようなまちになれば良いかについて意見をいただき、プラン策定の参考にする。

2 市民懇談会のテーマ

第1回 [テーマ] 「**地域の特性と課題について考えよう!**」

第2回 [テーマ] 「**地域の夢（将来像）を語ろう!**」

◆グループ討議の様子



・地域の「良い点」「改善点」を各自で考え付箋紙に記入しました。

・記入した付箋紙の場所を確認しながらグループ内で話合いました。

・似通った意見や同じ場所への意見をまとめ整理しました。



・最後に、代表者が各グループの作業成果を紹介しました。

<地域のよい点>

筑後川や耳納連山をはじめとした豊かな自然環境に関連する意見や果樹園や水田、歴史ある街並みなど多様な雰囲気ある景観についての意見が多く出されました。

<地域の改善点>

交通施設整備に関する意見が多く、全体的に道路が狭く歩道の無い区間が多いや市中心部への移動が不便、近接する交差点による渋滞などの意見が多く出されました。

また、地域人口の減少や高齢化を危惧する意見も聞かれました。

◆東部地域の作業結果 (出された意見を事務局で分野別に再整理しています)

○良い点・×改善点 コメント後ろの○番号は意見の数

分野	1班	2班	3班
土地利用	<p>○吉本工業団地には企業進出が進んでいる(企業進出に伴い人口は増加傾向にある)②</p> <p>○水分・柴刈校区では、農業が盛んで住み良い</p> <p>×雇用の場が少ない(企業や工場等が少ない)②</p> <p>×買物やレジャー施設が少ない</p> <p>×住宅地や農地など用途が混在している</p> <p>×地域の中心部に住宅が集中しており、周辺の集落地へ住む人が少なくなってきた</p> <p>×都市計画に関する市街地の生活環境整備が遅れている</p>	<p>×市街化調整区域の為、若者が入ってこない②</p> <p>×買物が不便(店がない。少ない)買物難民②</p> <p>×耕作放棄地が増加している</p>	<p>○船越付近は、なぜか買物が便利(隣接するうきは市に大型店が集積している)</p> <p>○山苞の沿道にお洒落な店が集積している</p> <p>×大橋町付近には商店がなく高齢者にとって買物等が不便</p>
交通施設整備	<p>○中心部の公共交通機関は利便性が高い</p> <p>×浮羽バイパスの整備が遅れている(通学路に大型車両が通行するため危険/国道210号の機能が低下している)③</p> <p>×中心部と郊外部では公共交通整備の格差がある(公共交通の利用が不便な地域がある)③</p> <p>×生活道路の道路幅員が狭い箇所が多い②</p> <p>×田主丸中尾の交差点(県道743号との交差点)では、交通事故が多い</p> <p>×朝・夕のラッシュ時には国道210号が渋滞する</p> <p>×国道210号の信号が沿道の交通状況に適していない(流れが悪い)</p> <p>×通学路の歩道幅員が狭く危険(通学路の整備が遅れている)</p> <p>×国道210号から耳納山スカイラインへのアクセスが悪い</p> <p>×吉本工業団地への幹線道路が整備されていない</p> <p>×大型車の通行が多く危険である</p>	<p>×中央部と東部地域の自動車での連絡性が悪い③(国道210号に依存しており、道路がふさがれた場合の代替路が無い)</p> <p>×県道151号の道路が狭く、交通量が多いので危険</p> <p>×県道151号は交通量に対して信号機が少ない</p> <p>×柴刈校区は数十年前から公共交通機関が廃止となり不便極まりない</p> <p>×柴刈校区は公共機関(バス)に変わり福祉バスの運行が実施されていて1日2往復しかない</p>	<p>○朝倉ICが近く広域への移動が便利(車なら久留米中心部より福岡市の方が近い)</p> <p>×国道210号が渋滞する(バス停車帯がない/牧交差点は信号がすぐ変わる/右折車線が少ない)③</p> <p>×幹線道路でも歩道が無く危ない(特に国道210号や県道)②</p> <p>×国道210号の牧信号は2箇所の信号が接近しているため渋滞となり、集落内の生活道路が通勤車の抜け道となっている</p> <p>×久留米中心部への移動が不便(JRの本数が少ない)</p> <p>×県道80号は道路管理者がこまぎれて拡幅が出来ない(久留米市・うきは市・朝倉市)</p> <p>×道路整備の不備(国道210号バイパス及び県道81号の整備が途中で止まっている)</p> <p>×国道210号バイパスを筑後川の堤防道路につなげてほしい</p>
水と緑	<p>○自然に恵まれている(山と川の両方がある/川がきれいである/山がきれいである)⑤</p> <p>○自治体が森林の財産区の権限を有しているため、森林計画を立てやすい</p> <p>○竹野校区には緑が多い</p> <p>×森林整備が遅れている</p> <p>×公園の整備が遅れている(平原公園の改良整備が求められる)</p>	<p>○自然環境に恵まれて四季感がある⑥</p> <p>○水が豊富である</p> <p>○柴刈校区は筑後川に抱かれた自然豊かな場所である</p>	<p>○公園を生かした都市計画が図れる(浅井の1本桜から草野、平原自然公園を結ぶなど)</p> <p>○筑後川は良好な資源</p> <p>×街路樹がない(植木の町なのに)</p>
上・下水道	<p>○柴刈校区では下水道整備が完了している</p> <p>×地域によっては下水道整備が遅れている</p>	<p>×川会の下水道整備が遅れている</p> <p>×山本、草野、旧久留米の下水道が整備されていない</p>	—
景観形成	<p>○筑後川の農林風景が美しい</p> <p>○耳納山スカイラインからは景色が良く見える</p>	<p>○草野町は歩いて廻る癒しの地域</p> <p>○草野町は歴史のある町並みが残る</p>	<p>○果樹園や野菜畑が美しい、豊か</p> <p>○山あいの雰囲気が良い(福岡の軽井沢といえる)</p> <p>○筑後川の眺めがきれい</p>
公共公益施設	<p>○久留米市立柴刈小学校は、木造校舎であり、校庭は芝の養生をするなど環境に配慮している(学校版環境ISOを取得)</p> <p>○田主丸町老人センターは、老人の憩いの場となっている</p> <p>○うきは市吉井町に火葬場があるため東側の住民にとっては便利である</p> <p>×公共交通や医療機関などの課題があり、高齢者にやさしくない地域である</p> <p>×柴刈校区では、医療機関がないため不安</p> <p>×東部の中心部に斎場がないため、斎場までの時間を要する</p>	—	—
その他	<p>○野菜・果樹・植木の生産が盛ん(柿・葡萄等の果樹生産が盛ん)②</p> <p>○久留米市東部は全体的に住みよい土地である</p> <p>○地域間のコミュニケーションが図りやすい</p> <p>○東部地域の森林約800haには、福岡ヤフードームの約116個分に相当するCO₂吸収効果がある</p> <p>○有線放送が整備されているため様々な情報を得ることが可能</p> <p>×久留米市中央部から離れているため町の機能が低い(久留米市中央部から一番遠い)②</p> <p>×自然が豊かであり、まだ観光地化されていない箇所がある</p> <p>×観光面において自然資源が十分に生かされていない</p>	<p>○ハゼ並木、千光寺、一本桜等の地域資源がある</p> <p>○柴刈校区は久留米市でも他に引けを取らない花火大会(片の瀬)がある</p> <p>○柴刈校区は庄屋の建造物があり1つは公園化され一見する価値あり(花畑(鶏頭)、陣屋もある)</p> <p>○温泉施設がある</p> <p>○集落毎の天満宮神社が多い。これらを核に地域形成が行われている</p> <p>○地域住民が協力的である</p> <p>○犯罪や災害等が比較的少ない</p> <p>×柴刈は高齢化が上昇している。久留米で一番38%(高齢者世帯が多い)②</p> <p>×観光が季節によることが多い。通年に渡って観光客が少ない</p> <p>×今後、天満宮神社の維持管理</p>	<p>○苗木の生産日本一(植木の町の特徴を生かしていくと良い/みかん、マンゴー、杉などの苗木を日本はもちろん世界へ出荷している)③</p> <p>○地域のまとまりが良い(隣近所の付き合いが密接である)②</p> <p>○かんかけ峠付近にハングライダーの飛行場がある</p> <p>○巨峰や観光農園、苗木・植木の発祥の地</p> <p>○緑の豊かな町。のどかな町(水分)</p> <p>○自然が多く安らぎを感じる</p> <p>○水がおいしい(地下水)</p> <p>×近くに雇用の場が少ない(人口が減少している/雇用の機会が少なく若者にとって魅力がない/人が少ない、特に子供が少なく高齢化が進んでいる)③</p> <p>×筑後川河川敷でパラグライダーをする人がいるが、エンジンがうるさく地域は反対している</p>

久留米市都市計画マスタープラン 第2回 市民懇談会 かわら版 ～ 東部地域 ～

都市計画マスタープランの策定に向けた東部地域市民懇談会を、4月24日（火）に開催しました。

第2回は、“地域の夢（将来像）を語ろう！”をテーマに3つの班に分かれ活発な意見交換が行われました。

会次第

1 開会

2 事務局説明

- ・第1回市民懇談会について
- ・今回の内容について

3 グループ討議

「地域の夢（将来像）について語ろう！」

4 討議内容の発表

5 閉会



1 市民懇談会の開催目的

① 都市計画マスタープランについて知っていただく

- ・都市計画マスタープラン策定の目的と概要

② 市民の皆様の意見をお聞きする

地域の良い点や改善すべき点、また、将来どのようなまちになれば良いかについて意見をいただき、プラン策定の参考にする。

2 市民懇談会のテーマ

第1回 [テーマ] 「地域の特性と課題について考えよう！」

第2回 [テーマ] 「地域の夢（将来像）を語ろう！」

◆グループ討議の様子



- ・第1回の「良い点」「改善点」を踏まえ、どこで何をすべきかを各自で考え付箋紙に記入しました。



- ・記入した付箋紙の場所を確認しながらグループ内で「地域の将来」について話合いました。



- ・グループ毎に「地域の将来像（キャッチフレーズ）」を作成しました。

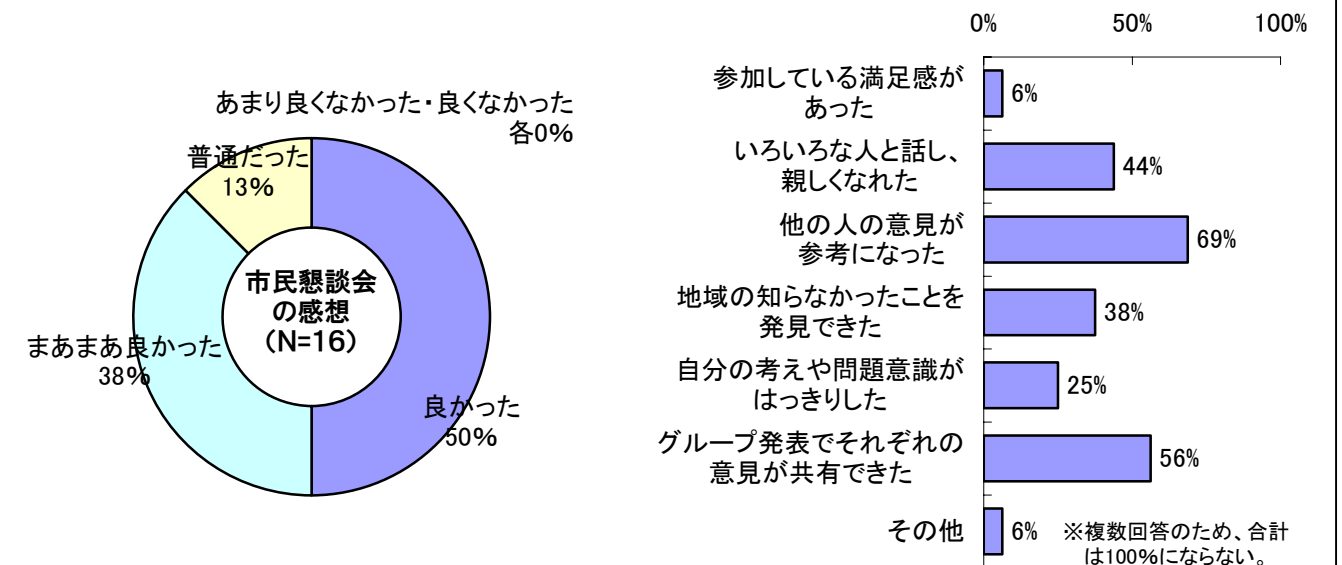


- ・最後に、代表者が各グループの作業成果を紹介しました。



◆参加者アンケート結果

○ワークショップ形式の開催でよかった点(N=16)



- 主な感想 -

- 他の人の意見を聞き、自分の考えと同じ事、また問題意識もできた。
- 田主丸校区だけではなく、旧久留米市の環境の似通った地域が集まったことで地域の特性等の意見が自然に出た。
- 参加者の平均年齢を考えるともう少し若い人の参加を促して欲しい
- 市民懇談会で議論した事が市の行政に本当に反映されるのかが疑問。 など

◆東部地域の作業結果

		1班	2班	3班
将来像 (キャッチフレーズ)		またいく倍!!楽しめる 木と緑が湧く湧くランド	ばさろ好いとー自然と人 いっぺん来てんのうよかまちばい	住みたくなる、訪れたくなる あたりまえすぎて気付かない豊かさ(自然・歴史・農業)
キーワード		自然/水資源/筑後川/環境/住みやすい/憩い/観光/古民家/福祉/守る/テーマパーク/伝統行事/メリハリ/若い人/生活道路	耳納・田園/ばさろ好いとー/自然と人/いっぺんきてんのうよかまちばい/豊かな自然と人なつっこさ/好きです 人・豊かな自然/一度は住んでみたいまち/あなたといっしょに/ことば・方言・文化/若い人・定住/人・つながり/コミュニティ/豊かな自然/水・川・筑後川/田園/安心安全/生活/脱皮/子供たちがここで良かったと思える/皆でまちづくり/まとまる/働ける場/買物難民	歴史/安全/山並み/里山/あたりまえのありがたさ/緑/訪れやすい/帰って来なくなる/訪れたくなる/住みたくなる
将来像の実現に向けたアイデア	守る	<ul style="list-style-type: none"> 自然に恵まれた環境を守る 	<ul style="list-style-type: none"> 筑後川を基盤とした自然を壊さない 無駄に農地を減らさない 安全安心な町、災害に強い町 自然、筑後川、耳納連山、豊かな水資源 言葉、方言 自然環境(一本桜、ハゼ並木、紫陽花)を守る 自然を守る 	<ul style="list-style-type: none"> 今の住みやすさを守る(新たな造成や開発は控える) 緑が豊かで自然が多い町を守る 緑の豊かな町、のどかな町(ゴチャゴチャしていない) 筑後川の良好な資源(景色、生き物、水などの自然環境) 果樹園や野菜畑を守る(現在のまま維持する) 耳納連山の山あいと里山の雰囲気や住居
	活かす	<ul style="list-style-type: none"> 森が育む地下水を有効なマネー資源として活かす 筑後川の自然を活かした河川敷公園を整備する 工業団地を充実(工業団地の機能拡大、企業誘致等)させ、雇用の場を提供する 子供たちが参加する「おこもり」等の伝統行事を地域活性化に活かす 	<ul style="list-style-type: none"> 庄屋や陣屋など旧跡等が整備されているのを外に周知させる 自然と風景を守り活かす 水資源を守る、活かす 人間を活かす 	<ul style="list-style-type: none"> 水天宮からゆめタウンまでイベント時に運航している遊覧船を東部の両筑橋付近まで運航できたら観光客の集客にも繋がる 耳納山麓には、1300年程続くお寺が数件ある。これらを活かすことで自然と歴史の調和が図れる 観光コンベンションで検討中の「緑の里づくり」を活かし協同で緑のまちづくりを進めてはどうか ハンググライダーの飛行場を活かしたイベントを開催(将来的には世界大会が開催できるような規模にしたい) 巨峰や観光農園及び植木等の発祥の地ということを観光面に活かす
	つくる	<ul style="list-style-type: none"> 自然環境を守りつつ、メリハリのある都市計画づくりを行う 山・田・川を活かし、観光客や他地域からの住民が流入する新たなまちづくりモデルを構築する 福祉団地等の福祉拠点を整備し、福祉のまちづくりを進める 住民の転出入が可能な社会システム(税制や保健等の仕組み)を構築する 今後進行する少子高齢化に対応したニュータウンを整備する 都市公園やスポーツ公園をつくる(イメージは、海ノ中道海浜公園(福岡市)やセントラルパーク(ニューヨーク)のような自然に配慮した大規模公園) 複数の箇所に最低限の行政サービスが受けられる拠点を整備する 人が集まる古民家をつくり、街なみを活性化させる 	<ul style="list-style-type: none"> 道路の整備、信号機の設置 公共機関(バス)の復旧 道路の拡幅(歩道のない区間など) 公共交通など交通手段の整備(コミュニティタクシーなど) 道路 生活環境の整備(下水道整備) 各地域の特徴をつくる 新たな名所をつくる 地域間の連携をつくる 	<ul style="list-style-type: none"> 東部から通える範囲に雇用の場をつくる(周辺で働いて東部に住む) 幹線道路(国道210号)を拡幅して街路樹を植えて地域の顔となるようなシンボルロードをつくる(植木のまちをPR) 国道210号バイパス整備の早期完了 竹野富本のため池を埋め公園として整備する 山歩きを楽しむ人用に周辺と調和したトイレをつくる
	なおす	<ul style="list-style-type: none"> 狭く危険な生活道路を改良する 無医村地区を解消する 今ある自然(人も)の新しい活用方を再考する 家庭から出る可燃ごみを減らし「ごみゼロ」の実現に向けて行政サービス(ごみ処理)を見直す 	<ul style="list-style-type: none"> 交通整備 道路環境(拡幅) 校区民の意識改善 市営住宅を建て直して入居を促す 買物の方法(高齢者が買物しやすい移動販売など) 	<ul style="list-style-type: none"> 道路の快適性をなおす(渋滞解消、安全な歩道など) 子ども達が安心して通学できる歩道の拡幅等の整備(カラー舗装だけでも効果はある) 幹線道路の安全性をなおす(歩道がなく危ない) 県道浮羽草野久留米線(竹野駐在所から以東約800m)の拡幅(スピードの出た通勤車の通行が多く、県で一番危険な道路とテレビでも紹介された)

※第2回市民懇談会では、第1回市民懇談会結果の「良い点」「改善点」を基に、将来に向けてどこで何をすべきかのアイデアを提案して頂きました。そのため、上記に記載されたアイデアがすべて実施されるものではありません。